

【栄区】令和 6 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 6 年 6 月 11 日（火） 午前 10 時 29 分～午前 11 時 30 分
場 所	栄区役所新館 4 階 8・9 号会議室
出席者	<p>【座長】大桑正貴議員</p> <p>【議員：2 名】長谷川えつこ議員、輿石かつ子議員</p> <p>【栄区：30 名】松永朋美区長、大塚尚子副区長、 横森喜久美福祉保健センター長、 大野豊福祉保健センター担当部長、 小野範子福祉保健センター医務担当部長、 宍戸由範土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 6 年度個性ある区づくり推進費執行計画について</p> <p>2 会議報告書作成について</p>
発言の 要 旨	<p>（説明省略）</p> <p>長谷川議員：テーマ 1 「誰もが安心して出産や育児ができるまちづくり」に関連して、年々子供の数が減少している中で、栄区の出生数の推移について伺いたい。</p> <p>矢口照彦こども家庭支援課長：政策局より毎月の統計が出ており、昨年度までは月 60 人程度の出生届を受理していたが、年明け以降の出生数はおおよそ 50 人台に落ちているというのが現状である。</p> <p>長谷川議員：区内で出産ができるのは栄共済病院ぐらいなのではないかと思うが、里帰り出産ではなく、栄区内で出産し育児に入られる方はどの程度いるのか。</p> <p>矢口照彦こども家庭支援課長：特に統計や比率は把握していないが、里帰り出産の方も一定程度いる。里帰り出産の場合は、その自治体への情報提供等を日々行っている。</p> <p>長谷川議員：「誰もが安心して出産や育児ができるまちづくり」を進めているならばぜひ出生数も増やしていくような政策があったらと良いと思うのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>新たな担い手応援事業について、担い手の対象や計画を伺いたい。</p> <p>田中麗子区政推進課長：新たな担い手とは分野を指定するものではなく、担い手不足となっている地域に対して、新たな方を結びつけてい</p>

くことを目的とした事業である。7月6日に名人育成講座を実施する予定であり、地域の方々と新たに応募してきた方々と一緒に焼きそばをつくるという内容。担い手の間口を拡大するために、参加するハードルを下げつながりをつくっていきたい。そのつながりを生かして12月のイベントに参加し、地域への愛着を高めて、将来的な地域の担い手を生み出していくことを目指す事業である。

長谷川議員：担い手不足と事業継承でとても悩んでいる方が多いので、そういったところをうまく引き継げるような、そんな企画であってほしいと思う。

移住促進・空家対策によるまちの活性化推進事業の空家未然防止相談会について、概要を伺いたい。

田中麗子区政推進課長：8月3日に予定している空家未然防止相談会については、今月の栄区連合町内会定例会において周知し、チラシを回覧して参加者を募集する。土地家屋調査士を講師として、居住支援協議会と連携して作成している「空き家にしない「わが家」の終活ノート」を活用して、自らの家系図の確認や、相続人及び法定相続分といった制度の内容などを聞いていただく講座の部分と、弁護士等に個別の相談を受けていただく個別相談会との2本立てとしている。

長谷川議員：ご自身の持ち家を今後空き家にしないために取り組みたいという志のある方はおそらく参加されると思うが、不意に空き家になってしまうパターンもあるのでは。その場合に、何とか流通に乗せることができるような取組は考えているか。

田中麗子区政推進課長：不意に空き家になってしまった場合に区役所へご相談があった際は、所有者を調査してご連絡することもあれば、建築局が用意したワンストップで対応を行えるような相談窓口をご案内することもある。

長谷川議員：空き家の保全が必要なときに、所有者へ連絡していただいても改善されない場合があるが、根気強く対応していただくことを要望する。

GREEN×EXPO 2027 について、パンフレットやチラシがあったり、栄区役所内のエレベーターに装飾があったりと、機運醸成のための取組がありとても良いと思っているが、あっという間に

2027年が来てしまうのではないかと思う。6年度予算にはGREEN×EXPO 2027の機運醸成につながるような予算を計上しているが、局予算もあるのでは。自主企画事業費として計上している区の方考え方についてお聞きかせいただきたい。

田中麗子区政推進課長：脱炭素・GREEN×EXPO推進局から300万円の配当予算があり、啓発物品やイベント時に活用するエアバナーといった消耗品を更新する費用等に活用する予定。局予算のみならず、区としても機運醸成に取り組みたいということで、5年度は予備費を活用して対応してきた。6年度については、区としても力を入れていくために予算を確保して取り組んでいる。

興石議員：「個性ある区づくり推進費」とあるが、全体的に区の独自性が少々弱いのでは。区の予算は区の個性を最大限に引き出すために使うべきと考える。栄区において定点観測をしている者からすると、年々栄区の個性が薄れているように思うが、4月に着任された区長は「栄区ならではの」という点について、どのように受け止めているのか。

松永区長：幾つかの区を経験し、栄区についても学んでいるところである。GREEN×EXPO 2027を推進するために緑豊かな環境を生かしていくことも栄区らしさのひとつであり、大学生のボランティアを活用して高齢者向けのスマホ教室を開催していこうというのも、高齢者が多い栄区ならではの取組だと思う。また、子育て支援についても地域のつながりが強い栄区らしさを生かしながら様々な事業を実施していると感じている。

興石議員：高齢者が多い栄区であれば、高齢者のための様々な取組が事業内にエッセンスとしてあるべきではと思うが、例えば区民まつりの在り方について、高齢者のためにも、横移動が難しくなっている地域交通の整備をもっと徹底的に取り組むべきでは。そのようなエッセンスが見えてこないが。

松永区長：地域交通の問題は、栄区に限らず他区でも抱えている問題であると思うが、それについては局事業を活用しながら展開していくものだと考えている。

興石議員：青少年の地域活動拠点における相談支援事業について、新たに配置するスタッフについて教えていただきたい。

谷川みちる地域振興課長：これまでの取組の中で、課題を抱える青少年の

相談を受けてきており、その部分を強化する目的で青少年問題に精通したスタッフを新たに配置する。何らかの資格を有するというのではなく、例えば教員OBであったり子育て関係の職歴を有していたり、栄区を熟知していて活動経験がある、といった方を想定している。

興石議員：現場の方が採用に関わり、区役所が主体的に探すのではなく、指定管理者や現場のチーフの皆さんが選考していくということか。

谷川みちる地域振興課長：そのとおり。

興石議員：中学校対校駅伝大会について、実行委員会において予算の使途の考え方に関する発言が委員からあった。SAKAE ヤングフェスティバルや中学校対校駅伝大会は、まさに栄区らしい、栄区発の、おそらく栄区しか実施していないようなイベントだと思うが、市全体の事業に区の予算を投じている傍らで、区の個性あるイベントの予算が少なくなっていることについて、建設的な意見が出ていた。その意見を踏まえてどのように検討されているのか伺いたい。

谷川みちる地域振興課長：委員会の場では、予算が少額ということではなく、設営などの費用がかなりかさんできている中で、これまでの予算の中で運営していくのは厳しいのでより節減可能な部分は削減していこうというご意見だったと認識している。SAKAE ヤングフェスティバルや栄区中学校対校駅伝大会は、地元の企業の皆様からも大変応援をいただいております、そういったPR活動を今後も続けていきたい。また、必要な予算についてはしっかりと確保していきたいと考えている。

興石議員：新たな担い手応援事業で実施する名人育成講座について、参加するハードルを下げるために焼きそばをテーマにということだったが、高齢化が進んでいる栄区で本気で担い手を探すにあたって、2年連続で焼きそばをテーマとするのはいかがなものかと考えている。昨年度の名人育成講座と大会イベントには警備を配置するなどかなり予算を割いていたはず。効果検証は行ったのか。

田中麗子区政推進課長：昨年度に参加していただいた方や、地域で講師としてご参加いただいた方などから意見を聞きながら、今年度の事業形態を検討してきた。昨年度は新たな担い手として来ていただ

く方の選出も地域の方々をお願いしていたが、今年度は公募という形で、今までそういった地域の活動に参加されていない方を中心に参加していただいて、つながりをつくることができるように変更した。

興石議員：昨年度は講座に参加できなかった連合町内会が1つあったが、そこは民生委員確保の課題を抱えている。この焼きそば名人育成講座を通じて、民生委員という大事な担い手探しに結びつけられるようなシナリオは描いているのか。

田中麗子区政推進課長：直接民生委員になっていただくというよりは、もっと初期の段階で、まず入り口としてそこから入っていただきたいというような趣旨である。民生委員に関しては、昨年度末にシンポジウムを実施しており、そういったところでご理解を得ながら、担い手の方を探すという形で対応している。

栗竹史明福祉保健課長：シンポジウムについて補足したい。3月に実施し、民生委員の方々に加えて町内会長も含め131名にご参加いただき、我々の取組のPRを進めてきた。今年7月1日に欠員となっている地区の補充を行う。これまでの補充の実績は1、2名程度であったが、今回については現在7名の方を推薦できる状況になっている。少しずつではあるが、民生委員自身だけではなくて、町内会側の活動の理解促進という面でも成果として表れたのではないかと考える。今後も引き続き連携しながら啓発に取り組んでいきたい。

興石議員：ぜひ連携していただき、イベントが地域活動の担い手不足という困りごとの解決につながるようにしていただきたい。

民生委員の負担軽減に向けた取組に関連して記載のある、区提案反映制度（デジタルプラス事業）について伺いたい。区提案反映制度自体は、とても良い制度であり、区の個性を各局に示すという点で有効活用すべきと考える。ただ、区によって提案数や実現性にばらつきがあると感じている。今回はデジタルプラス事業ということでデジタル化というのは大事なことなので進めていくべきとは思いますが、デジタル化と区提案反映制度では本質が異なるように思う。健康福祉局予算の未来を育むつながりというところに計上されているが、グローバルヘルスのような方向に向かって区提案反映制度が利用されると、区の個性という観点からまた

遠のいていくのではと考えるが、区としての見解は。

栗竹史明福祉保健課長：昨年度当課が提案したのは、民生委員が直接集めた支援者情報と、健康福祉局の一人暮らし高齢者見守り事業で民生委員に提供している名簿という二つのデータを共有できる仕組み作りができないかということ。これをクラウド化して、我々区役所内、あるいは地域包括支援センターなどとも共有できないかという想定をしていた。健康福祉局の所管課やデジタル統括本部と事業を検討しているところではあるが、クラウド化による情報管理について、セキュリティー確保という問題がどうしてもハードルとなる。また、デジタル統括本部としては、事業の全区展開が前提となっており、事業を進めるにあたっての課題が残っているというのが現状である。なお、この事業はデジタル統括本部のデジタルプラス事業であり、所管局である健康福祉局と栄区役所が3者一体となって取り組む事業である。

興石議員：本来全市的に考え方としてあるべきものを、栄区から提案して進め始めたということを理解した。

栗竹史明福祉保健課長：各区の民生委員児童委員協議会の負担軽減に対する考え方は様々というのが現状。栄区においては、昨年度の意見交換会あるいはシンポジウムを通じて取り組む方向性の合意が取れたというところで進めてきたが、他区ではデジタル化に対する抵抗感というようなものが残っているという情報もあり、全区展開には課題があるという状況である。

興石議員：よく理解した。デジタル化は、実は高齢者と親和性が高いと私は考えており、高齢化社会においてはデジタル機能を有効活用したほうが生活のクオリティーはより向上するだろうと思っている。ぜひリーダーシップを発揮して取り組んでいただきたい。

パラフェスタ♥さかえについて、会場があーすぷらざとのことだが、神奈川県との連携も視野に入れているのか。

小嶋宏子高齢・障害支援課長：県との連携ということではなく、なるべく一般の方にも多く寄っていただける場所ということで駅に近いあーすぷらざに会場を移したという次第。

興石議員：移住促進・空家対策によるまちの活性化推進事業に関連して、空き家と住まいを探している方のマッチング事業に取り組んでいる自治体があるが、横浜市では建築局でも特に取組がないよう

に見える。やはりここも栄区ならではの区提案反映制度などを活用して、デジタル的な情報管理も使って、マッチング事業に取り組んでいけばよいのではと思うが、何か考えはあるか。

田中麗子区政推進課長：栄区においては、他区と比較して空き家自体の数はそれほど多くないという状況。また、やはり郊外住宅地としての魅力があるようで、流通に流れるとかなりスムーズに売れるという話を聞いているので、今のところ民間事業者にお任せすべきと考えている。

興石議員：民業を圧迫するようなことになっては意味がないので、ぜひ宅地建物取引業協会の皆さんとも協力しながら、区として、安心入居や既存の仕組みを応援する形で進めていただけたらと思う。とはいえ、不動産会社の方からは他の地域と比べると、商業・工業地域ではないため動きが鈍いという話も聞こえてくるので、空き家というのをむしろメリットと捉えて、流通がスムーズに進むように考えていただけたらありがたい。

区内施設の花壇整備事業に関連して、区内の公園については、それこそ地域の担い手の皆さんが公園でお水をまいて管理していただいている中で、高齢化で水運びが大変で、行政がホースを引くような手助けをしてくれると担い手も楽になるという話を多方から聞いている。いの山東公園の整備について状況をお聞かせいただきたい。

坂入啓太土木事務所副所長：いの山東公園について、もともと水道のあるところと花壇の場所が離れていることから別の場所にも水道を設けられないかというご意見をいただいていた。遊具が設置されているなど、水道を引くにあたって支障となる点も含めて現場の状況を見ながら設置場所を検討しており、今年度中に設置する方向で準備を進めている。

興石議員：ぜひ少しずつ横展開をしていただきたい。

地域防災拠点支援事業のファーストミッションボックスの配備について、マンション防災の観点から地域防災拠点にとどまらず、集合住宅へも応援していただけたらと思うが、どう考えるか。

金子強総務課長：ファーストミッションボックスの整備は今年度の新たな取組であり、進め方や内容についても地域防災拠点の皆様にも意見を聞きながら、使い勝手の良いものにしていきたいと考えてい

る。今年度は地域防災拠点を中心に考えているが、今年度の状況を踏まえて今後の取組について検討していきたい。

興石議員：マンション防災は、在宅避難をサポートするという考えであり、在宅できるように必要なものを配備していくというのは効率がよく、1つの場所に複数の世帯で住んでいるという集合住宅は、ファーストミッションボックスの有効性がより発揮できると考えているので、ぜひお願いしたい。

関連して、災害時医療提供体制の強化についても、栄共済病院のような大型病院のみならずマンションや住民の近くにある開業医の方々にも協力してもらえたらと考えているが、そういった視点はお持ちか。

栗竹史明福祉保健課長：災害時の医療に関しては、医師会、薬剤師会、歯科医師会と連携しており、大きな病院のみならず医師会に参加していらっしゃる先生方とも連携を図っていく。

興石議員：適正飼育啓発事業に関連して、災害時に同行避難や同伴避難を強化していくべきだと思うが、その際に動物適正飼育推進員の有資格者のお力を借りるべきと従前からお伝えしている。栄区内には有資格者が何人おられるのか。

松木諭和生活衛生課長：栄区の動物適正飼育推進員は3人である。

興石議員：以前は1人だったと認識しているので、少しずつ増えていると理解した。各拠点に1人はいるということとなればご自分が好きな動物をきっかけに地域活動を担っていくという入り口が開けていくと思うので、そういった視点でも連携を取っていただけるとありがたい。

大桑座長：中学校対校駅伝大会について、実行委員会では経費削減の件で、ゼッケンをどうするかという具体的な話題があったと記憶している。現行では、特に優勝した生徒やチーム、個人成績の良い生徒にとってゼッケンが記念になるのではということから持ち帰っているという話だった。経費を削減するという意味ではビブスにしてみるなど方法はあると思うので、生徒たちのことも含めて、何が良いのか検討していただければと思うので要望する。

こどもにやさしい待合事業について、6月7日から始まったということで、まだ反響はないかもしれないが、1階奥には授乳できる設置型ベビールームもあるので、それもあわせて周知してい

ただきたい。

杉田和成戸籍課長：区役所の正面入り口の右手奥部分に絵本やこども用椅子を備えた親子の待合スペースを設置した。6月7日の設置のため、まだそれほど区民の方からの反応はないが、もっと広くPRして多くの方にご利用いただけるよう努めていきたい。

大桑座長：区内施設の花壇支援事業や花いっぱい魅力づくり事業、愛護会活動支援事業など、GREEN×EXPO 2027に向けて花壇を増やしていこうという思いがあると理解している。前回もお伝えしたが、GREEN×EXPO 2027の後も継続していけるよう、予算を確保しながら取り組んでいただきたい。

坂入啓太土木事務所副所長：作りっぱなしにならないよう、局配当の維持管理予算の確保についてももちろんだが、維持管理しやすい花壇のつくり方を講座で学んでいただくといったことも含めて、対応していきたいと考えている。

大桑座長：花の整備は、子育てしやすいまちの魅力のひとつとも言えるであろうし、子育て予算については出産費とか妊婦健診など直接的な支援がクローズアップされて、どうしてもそちらに予算が配当されてしまうので確保はなかなか難しいと思うが、我々からも発信していくので、ぜひ区民の方が継続的に活動できるように取り組んでいただきたい。

本郷台駅前広場活性化推進事業に関連して、以前もお伝えさせていただいているが、感染症拡大が落ち着いてきてから、特に駅前イベントがとても充実してきて、イベント時には朝からかなりの人が集まって来ているイメージがある。現行は交通整理や安全管理含め主催者に任せているのではと考える。区が連携するイベントの際はもちろん区の職員もいると思うが、駅前の、本郷台駅改札口から直進したスーパーまでの点字ブロックさえも確保できないくらい出店に行列ができていたり、安全面で心配だなと感じるところがあるので、工夫していただきたい。利用団体にもお伝えしているとは思いますが、今まで以上に人出があるなどという体感がある。何か対策をしているのであれば教えていただきたい。

谷川みちる地域振興課長：ご指摘のとおり、昨年度の状況では、かなり人出のあるイベントもあり、また、イベント数も増えている。区役

所に届け出させていただく際に計画内容を確認しているが、同時に栄警察署にも届出を提出していただいているので、警察等と連携し警備計画をしっかりと立てるよということ、引き続き団体に伝えていきたい。

大桑座長：せっかく駅前イベントをやっているのに何か起きてからでは本末転倒になってしまうので、ぜひお願いしたい。また、これも以前お伝えしたかもしれないが、イベントの主催や内容が分かりにくい。看板を立てるのが良いのか、掲示板を掲出するのか、何をしているのかが伝わるように工夫できないか。その点も伝えていただきたい。

I C T利活用推進事業に関連して、区役所については順調にW i - F i 整備等が進んでいると思うが、土木事務所はいかがか。私が把握している限りでは、L E D化は少し進んだがW i - F i が整備されず会議の実施形態が限られてしまうとのことだが。災害時は別として、W i - F i や更衣室など整備されていたほうが便利であろうし、区としてもぜひ声をあげていただきたい。

宋戸土木事務所長：ご指摘のとおり、栄土木事務所については、Y C A N の無線化やW i - F i は未整備の状況。他区の土木事務所については、区庁舎内の土木事務所については整備されているところも2、3か所あるが、それ以外の土木事務所は当区と同じ状況。土木事務所所長会の中で課題感を持って議論しているところで、D X 推進やペーパーレス化も含めて進めており、職場環境改善に取り組むことで市民サービスの向上につなげていきたいと思っている。

大桑座長：地域防災拠点支援事業のペット同行避難に関連して、災害時に獣医師にペットを預かってもらうという連携は、区として何か話があるか。

松木諭和生活衛生課長：栄区独自ではなく、横浜市から横浜市獣医師会に加入している獣医師へ市が用意したケージを2つずつお預けしておいて、2つ分は引き受けていただくということとなっている。

大桑座長：地域防災拠点に同行避難することも一つの選択だと思うがアレルギーや好き嫌いがある等の課題もあり、横浜市獣医師会としてももう少し協力できるのではという思いがあるようなので、情報収

集していただければと思う。我々も情報収集していくので、共有していただきたい。

興石議員：新型コロナワクチンにおける副反応について、栄区で死亡事例や重篤事例が発生しているのか、被害救済にどのように対応しているのか、区の福祉保健センターとしての考えを伺いたい。

栗竹史明福祉保健課長：区としてそのような事例が何例かという数字は把握していない。そういった事例が発生した場合は、医療局などと連携しながら、対応方法を検討したいと考えている。

興石議員：区民が発した声に寄り添うことも大切だが、高齢者を多く抱える栄区として、数値を把握し統計分析することも必要と考えるのでよろしくお願ひしたい。

横森福祉保健センター長：現時点で数値の把握はしていないが、ご相談やお困り事があった際には福祉保健センターでお話を伺いながら医療局などと連携して対応していきたい。

長谷川議員：家族のための介護カウンセリング事業について、認知症や難病等の方の介護を行っている家族に対して、臨床心理士の方が相談を受けるといった事業内容と理解しているが、認知症にならないような取組も併せてやっていただくことを要望する。

また、前回の会議で、不動産事業者と連携して、栄区に移り住んでいただけるようなPRをしていくという事業があったかと思うが。

田中麗子区政推進課長：移住促進・空家対策によるまちの活性化推進事業の郊外戸建て住宅PRに係る広告掲出という取組で、今年度は栄区の魅力をPRするポスター等を横浜駅等に掲出して、そこから栄区の魅力をPRするような民間事業者と連携してやっているサイトに飛んでいただいてご検討いただくという内容。

長谷川議員：ぜひそのポスターを見てみたいと思うので、後でデータ等ご提供いただきたい。

小嶋宏子高齢・障害支援課長：認知症にならないための取組について、「介護予防」という考え方の中に含まれると考える。社会参加をするとか、地域につながりを持つといったような取組として、元気づくりステーションや地域ケアプラザにおける通いの場などを提供しており、今後もそれらを活用して認知症予防にも努めていきたい。

	<p>大桑座長：ほかに発言がないようであれば本件は以上となる。</p> <p>会議報告書の作成については座長一任。了承</p>
備 考	